

Title	流通チャネル戦略情報とパワー
Sub Title	
Author	藤原庸祐(Fujiwara, Yousuke) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第433号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0433

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 藤 原 庸 祐
(ライオン株式会社)
所属ゼミナール 和 田 充 夫 研

主査 片 岡 一 郎
嶋 口 充 輝
和 田 充 夫

流通チャネル戦略情報とパワー

メーカー及び小売業者は、各々の水平的競争を優位に展開するために消費者情報（ニーズ）を把握し、それを戦略に具現化していくのであるが、これらの情報をいかに確保するのかということが同時に流通チャネル・システムにおける垂直的競争にも大きな影響を与えることになるのである。つまり、メーカーあるいは小売業者のいずれかが「消費者情報」を的確に把握出来るならば、それは流通チャネルを支配するパワー資源を持つことになる。本研究は、以上の仮説を実証的に検証したものである。仮説の検証にあたっては、大手小売業者153社、大手メーカー155社を対象にして質問票を送付し、多変量解析の手法を用いて実証を行なった。この結果、「環境不確実性の内、特に、市場における空間的な複雑性が増す時、アソートメント情報の必要性が高まる。」「環境不確実性が高まると、アソートメント情報負荷量が増え、これを処理する能力のある企業が、流通チャネル・システムにおいてパワーを獲得し、統制水準を高めることが出来る。」ことが実証された。本研究ではこれらのことから、流通チャネルにおける水平的競争、垂直的競争の概念が崩壊しつつある環境下において、「アソートメント・パワーを獲得する」ための新たなチャネル戦略のあり方が提示された。